



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 博司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 進一 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,666	35.0	472	—	426	—	264	—
2019年3月期第2四半期	4,196	△17.5	△187	—	△60	—	△118	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 50百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △180百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	18.84	—
2019年3月期第2四半期	△8.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,629	10,089	59.8
2019年3月期	16,932	10,249	59.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 9,958百万円 2019年3月期 10,127百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年3月期	—	15.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 会社設立50周年記念配当5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	13.8	1,600	150.8	1,600	119.9	960	180.4	68.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	14,200,000株	2019年3月期	14,200,000株
2020年3月期2Q	184,621株	2019年3月期	184,621株
2020年3月期2Q	14,015,379株	2019年3月期2Q	14,015,426株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

※ 当社は、以下のとおり説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・2019年11月27日（水）……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、米中貿易摩擦の長期化や、中国経済の減速懸念、中東や朝鮮半島における地政学的リスクの高まりなど世界経済の不確実性の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、国内経済は雇用・所得情勢の改善、個人消費や設備投資は緩やかな回復傾向が続いております。

なお、当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資につきましては、当第2四半期連結累計期間は堅調に推移しております。また、国内自動車メーカーの設備投資につきましては、依然として低燃費エンジンや燃料電池・電気自動車等、環境や省エネに配慮した自動車部品の製造・研究開発分野への投資が続いております。

このような経営環境の中で当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンとともに、研究開発用の電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、国内及びアジアを中心に引き続き積極的に展開しております。この結果、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカー向けの生産ライン用タイヤ関連試験機や国内の自動車部品メーカー向けの電気サーボモータ式振動試験機等の受注を獲得いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高56億6千6百万円（前年同四半期比35.0%増）、営業利益4億7千2百万円（前年同四半期は1億8千7百万円の損失）、経常利益4億2千6百万円（前年同四半期は6千万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億6千4百万円（前年同四半期は1億1千8百万円の損失）となりました。

売上高につきましては、アジアのタイヤメーカーを中心にバランスングマシンの売上が前年同四半期から増加したため、前年同四半期と比較して増加しております。

利益面につきましては、当社グループの海外取引における主たる決済通貨である米ドルの為替相場が円高ドル安に推移したため為替差損が発生したことや、前連結会計年度に実施した役員報酬改定により役員報酬が増加したものの、役員賞与を支給していないため販管費が減少したことや前年同四半期と比較して売上高が増加したことにより利益を計上しております。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

[日本 (国際計測器株式会社)]

国内・東南アジア向けのバランスングマシン全体の出荷・検収が大きく増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	44億6百万円 (前年同四半期比36.9%増)
経常利益	3億1百万円 (前年同四半期比363.2%増)

[日本 (東伸工業株式会社)]

原子力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が減少し、材料試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	6千4百万円 (前年同四半期比34.4%減)
経常損失	7千3百万円 (前年同四半期は7千万円の損失)

[米国]

日系の大手自動車関連メーカーや米国の自動車部品メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益となりました。

売上高	5億9千6百万円 (前年同四半期比34.6%増)
経常利益	6千3百万円 (前年同四半期は4百万円の損失)

[韓国]

韓国大手自動車関連メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が増加したものの、当社グループからの製造委託が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	9億9百万円 (前年同四半期比2.5%減)
経常利益	1億6千1百万円 (前年同四半期比22.4%増)

[中国]

中国国内タイヤメーカーへのタイヤ関連試験機の出荷・検収が減少したものの、自動車部品メーカーへのシヤフト歪自動矯正機の出荷・検収は増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	4億2千3百万円 (前年同四半期比36.2%増)
経常利益	9千6百万円 (前年同四半期比91.4%増)

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、166億2千9百万円（前連結会計年度末比3億3千万円減）となりました。これは、売上債権の回収などにより現金及び預金が増加（前連結会計年度末比5億4千万円増）したことや、第3四半期以降に出荷予定の仕掛案件の進捗により仕掛品が増加（前連結会計年度末比4億9千4百万円増）したこと、第3四半期に出荷される商品及び製品が増加（前連結会計年度末比1億2千万円増）したものの、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比11億1千7百万円減）したことが主たる要因であります。

(負債の部)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、65億3千9百万円（前連結会計年度末比1億4千4百万円減）となりました。これは、受注の増加により支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比9千4百万円増）したものの、借入金の返済により短期借入金が減少（前連結会計年度末比1億8千万円減）し、長期借入金が減少（前連結会計年度末比1億1千5百万円減）したことが主たる要因であります。

(純資産の部)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、100億8千9百万円（前連結会計年度末比1億5千9百万円減）となりました。これは、四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加（前連結会計年度末比5千3百万円増）したものの、為替換算調整勘定が減少（前連結会計年度末比2億2千1百万円減）したことが主たる要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により11億6千万円増加し、投資活動により1億8百万円減少し、財務活動により5億6百万円減少した結果、現金及び現金同等物は前第2四半期連結累計期間に比べ5千4百万円減少し、27億7千6百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、11億6千万円の収入（前年同四半期比2億1千6百万円の収入増加）となりました。これは、法人税等の支払額が6千4百万円あったことや受注の増加によりたな卸資産が7億7百万円増加したものの、売上債権の回収により売上債権が10億7千8百万円減少したことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1億8百万円の支出（前年同四半期比8百万円の支出減少）となりました。これは、保険積立金を取り崩したことによる収入が2億2百万円あったことや、定期預金の満期が到来したことにより定期預金の払戻による収入が9千1百万円あったものの、資金運用のために定期預金の預入による支出が3億2千万円あったことや、保険積立金の積立による支出が5千1百万円あったことなどによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、5億6百万円の支出（前年同四半期比3億1千2百万円の支出増加）となりました。これは、短期借入金が純額で1億8千万円減少したことや、長期借入金の返済による1億1千5百万円の支出があったこと並びに配当金を2億1千万円支払ったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,055,340	4,595,831
受取手形及び売掛金	4,038,603	2,921,387
商品及び製品	239,755	360,155
仕掛品	2,640,935	3,135,070
原材料及び貯蔵品	598,576	623,924
その他	351,007	229,498
貸倒引当金	△5,801	△6,106
流動資産合計	11,918,418	11,859,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,461,119	2,431,011
機械装置及び運搬具	226,084	216,804
土地	1,307,431	1,301,091
リース資産	3,036	3,036
建設仮勘定	—	10,009
その他	270,991	290,722
減価償却累計額	△1,628,676	△1,655,583
有形固定資産合計	2,639,986	2,597,091
無形固定資産		
その他	54,214	54,834
無形固定資産合計	54,214	54,834
投資その他の資産		
投資有価証券	400,425	399,867
長期貸付金	10,160	10,888
繰延税金資産	14,942	7,939
保険積立金	1,585,445	1,377,735
その他	452,008	435,236
貸倒引当金	△143,005	△114,340
投資その他の資産合計	2,319,976	2,117,327
固定資産合計	5,014,177	4,769,253
資産合計	16,932,595	16,629,015

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,352,596	2,447,442
短期借入金	1,140,000	960,000
1年内返済予定の長期借入金	225,484	225,484
未払法人税等	77,807	187,685
賞与引当金	116,351	143,591
製品保証引当金	90,441	103,310
前受金	1,397,899	1,355,013
その他	318,769	280,225
流動負債合計	5,719,349	5,702,753
固定負債		
長期借入金	461,482	346,200
繰延税金負債	136,582	111,887
役員退職慰労引当金	141,656	145,896
退職給付に係る負債	212,489	220,691
資産除去債務	11,937	12,061
固定負債合計	964,147	836,737
負債合計	6,683,497	6,539,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	8,052,121	8,106,071
自己株式	△151,034	△151,034
株主資本合計	9,860,586	9,914,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	238,797	238,369
為替換算調整勘定	27,736	△193,925
その他の包括利益累計額合計	266,534	44,443
非支配株主持分	121,977	130,544
純資産合計	10,249,098	10,089,524
負債純資産合計	16,932,595	16,629,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,196,330	5,666,697
売上原価	2,745,610	3,686,248
売上総利益	1,450,720	1,980,448
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	29,154	99,457
貸倒引当金繰入額	21,945	—
役員報酬	142,702	202,744
給料手当及び賞与	377,096	338,439
役員賞与	200,000	—
賞与引当金繰入額	61,315	60,205
退職給付費用	13,869	14,393
役員退職慰労引当金繰入額	4,240	4,240
運賃	124,304	194,653
減価償却費	15,040	16,035
研究開発費	14,924	3,925
その他	634,022	573,962
販売費及び一般管理費合計	1,638,616	1,508,056
営業利益又は営業損失(△)	△187,896	472,391
営業外収益		
受取利息及び配当金	22,953	23,952
為替差益	106,682	—
貸倒引当金戻入額	—	29,593
その他	14,885	14,404
営業外収益合計	144,521	67,950
営業外費用		
支払利息	4,906	5,155
売上債権売却損	2,140	2,501
支払手数料	2,668	2,114
為替差損	—	44,921
保険解約損	6,722	56,918
その他	972	2,160
営業外費用合計	17,410	113,772
経常利益又は経常損失(△)	△60,784	426,570
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△60,784	426,570
法人税、住民税及び事業税	78,513	175,382
法人税等調整額	△34,938	△17,944
法人税等合計	43,575	157,438
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△104,360	269,132
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,686	4,951
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△118,046	264,180

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△104,360	269,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,586	△428
為替換算調整勘定	△6,629	△218,046
その他の包括利益合計	△76,215	△218,475
四半期包括利益	△180,575	50,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△190,123	42,090
非支配株主に係る四半期包括利益	9,547	8,566

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△60,784	426,570
減価償却費	56,155	62,096
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21,988	△27,835
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,417	27,584
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△12,950	13,373
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	816	8,416
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,240	4,240
受取利息及び受取配当金	△22,953	△23,952
支払利息	4,906	5,155
為替差損益(△は益)	△45,699	33,127
売上債権の増減額(△は増加)	1,763,766	1,078,939
たな卸資産の増減額(△は増加)	△864,590	△707,162
仕入債務の増減額(△は減少)	112,010	113,826
前受金の増減額(△は減少)	303,624	14,396
その他	△86,912	185,809
小計	1,203,033	1,214,585
利息及び配当金の受取額	13,143	15,643
利息の支払額	△5,180	△5,243
法人税等の支払額	△266,516	△64,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	944,480	1,160,863
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△320,905	△320,643
定期預金の払戻による収入	180,731	91,900
有形固定資産の取得による支出	△16,597	△40,222
保険積立金の積立による支出	△81,666	△51,969
保険積立金の解約による収入	102,468	202,761
その他	19,785	10,143
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,183	△108,031
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	△180,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△132,740	△115,282
配当金の支払額	△210,752	△210,977
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193,492	△506,259
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,325	△77,545
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	671,130	469,027
現金及び現金同等物の期首残高	2,159,704	2,307,512
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,830,835	2,776,539

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	3,031,351	98,274	433,392	318,346	254,456	4,135,822	60,508	4,196,330
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	188,731	—	10,086	615,041	56,599	870,459	23,513	893,972
計	3,220,083	98,274	443,479	933,388	311,056	5,006,281	84,022	5,090,303
セグメント利益 又は損失(△)	65,062	△70,979	△4,937	132,340	50,344	171,830	17,932	189,762

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	171,830
「その他」の区分の利益	17,932
セグメント間取引消去等(注)	△250,547
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△60,784

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が280,283千円含まれております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	4,124,857	56,462	596,811	508,950	322,985	5,610,068	56,628	5,666,697
セグメント間の内部売上高又は振替高	281,943	8,000	79	400,759	100,681	791,464	42,570	834,034
計	4,406,801	64,462	596,891	909,710	423,667	6,401,533	99,198	6,500,731
セグメント利益又は損失(△)	301,391	△73,523	63,535	161,933	96,360	549,697	19,734	569,431

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	549,697
「その他」の区分の利益	19,734
セグメント間取引消去等(注)	△142,861
四半期連結損益計算書の経常利益	426,570

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が158,168千円含まれております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	3,873,745	+51.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	740,075	+32.0	日本(国際), 韓国
材料試験機	56,462	△42.5	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	526,083	+30.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	510,931	△14.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	5,707,296	+35.3	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

区 分	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスングマシン	3,583,102	△31.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,801,995	△29.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	142,640	△7.3	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	445,700	△28.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	496,697	△22.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	6,470,137	△29.7	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第2四半期連結累計期間末(2019年9月30日)

区 分	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスングマシン	7,093,321	+5.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	3,609,805	+7.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	128,591	+5.3	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	760,175	△21.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	66,435	△51.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	11,658,330	+2.8	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

区 分	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスングマシン	3,833,143	+51.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	740,075	+32.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	56,462	△42.5	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	526,083	+30.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	510,931	△14.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	5,666,697	+35.0	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。